

色々のせな
輝き

60th
Anniversary

笑顔 創意 夢のまち

白子町

60周年記念誌

力強く新たな一歩を



60周年を迎えた白子町。町民の皆様とともにお祝いできますことを大変うれしく思います。

豊かな自然に恵まれた白子町は、温暖な気候と平坦な地形を生かし、先人達の努力の積み重ねによって産業、教育、福祉などそれぞれの分野で確実な町勢の進展をみることができたことは喜ばしい限りであり、感謝の念に耐えません。

特に、集約数日本一を誇る340面のテニスコート群では年間を通して多くの大会や合宿が行われ、国民体育大会やインターハイのソフトテニス競技会場にもなり、全国のテニス、ソフトテニスの愛好者に親しまれています。

また、近年はサッカーやグラウンドゴルフなどの施設も整備され、幅広い年齢層の皆様にお楽しみいただけるスポーツリゾートとしての広がりも見せています。

農業も生産量県下第2位のトマトをはじめ、細ネギやサラダ菜、ガーベラなど多品目が温室栽培されています。白子たまねぎも「おいしさ1番、健康にも良し」でブランドとなり、たまねぎ狩りも多くの方に楽しまれています。

教育の分野では、2学期制の導入や小中連携教育、土曜スクール、また校庭の芝生化など子どもたちが学びやすい制度や環境づくりに努め、着実な成果が出ています。

反面、防災対策、人口減少など直面する課題も山積しています。

防災対策は海岸への土塁構築や南白亀川の堤防嵩上げのハード面と町民1人ひとりの防災意識の高揚等、ソフト面で安全度は増していますが、人口減少問題は施策の成果が出ず悩みは深刻です。より丁寧かつ長期的な視点で取り組み、有効な手段を模索していかなければと思います。

社会は成長から成熟へと様変わりをしています。白子町も60年、人の世では60歳は還暦の人生の成熟期です。

60年の節目を契機に、単に都市の便利さに倣うだけのまちづくりではなく、白子町にたくさんある良い所、良いものをひとつでも多く探し出し「笑顔、創意、夢のあるまちしらこ」をみんなで作っていきたいと願うものです。

白子町60周年の記念誌が町民の皆様にも町の歴史を理解していただき、力強く未来へ踏み出す一助となれば幸いです。

白子町長 林 和 雄

CONTENTS

p2 白子町のあらまし

p3 町長あいさつ

p5 未来への礎

p6 60年のあゆみ

p10 白子町の名産・特産

p12 白子町 四季を彩る

p14 小谷村姉妹都市交流

p15 シンボルキャラクター げんき君

p16 小中学生の作品

p20 プロフィール

白子町のあらまし

白子町は東京都心から約70km。

千葉県中央部太平洋岸に位置し、北は大網白里市、南は長生村、西は茂原市に接し、東は太平洋に面しています。

東西5.7km、南北6.3km、面積27.46km²の、正方形に近い形です。

冬でも比較的暖かく、年間を通じて過ごしやすい気候です。

町の成り立ちは、明治22年(1889年)の町村制施行により旧14村が合併して、関・南白亀・白潟の3村が発足。その後、白潟村は町制を施行し、昭和30年(1955年)2月11日、この1町2村が合併、地域の郷社である白子神社の名にちなみ『白子町』が誕生しました。





天皇皇后両陛下下行幸啓 H22年9月



東京駅行き高速バス運行開始 H21年6月



白子中学校屋内運動場 H23年2月



ゆめ半島千葉国体開催 H22年9月

未来への礎

あ

す

いしずえ



ものごとが
笑顔が
しとやかなりの



小谷村との災害協定締結 H24年7月



副議長
板倉 正道



議長
齊藤 豊彦



産直「げんきの里 ひまわり」 H26年4月



煌めく青春南関東総体開催 H26年7月



白子中学校創立50周年記念式典 H24年11月



副町長
長島 義行

町長
林 和雄

教育長
牧野 敬一

昭和62年 5月 白子町歴史民俗資料室運営開始
12月 千葉県東方沖地震発生

昭和63年 7月 第41代千葉県議会議長に酒井茂氏就任
8月 新農業構造改善事業ライスセンター完成
12月 幸治地先産業道路（県道飯岡一宮線）竣工
1月 白子温泉誕生

平成元年 2月 「白子風土記」発行
3月 関保育所移転新築
4月 白子町民憲章碑庁舎玄関前に建立
5月 町長選挙、市川俊雄氏三選
平成2年 2月 第1回九十九里ロードレース大会開催
10月 町営アクア健康センター運営開始
12月 町の花に「ひまわり」を制定

平成3年 8月 人材育成事業 第1回海外派遣実施
11月 「九十九里地引網発祥の地記念碑」建立

平成4年 1月 アクア健康センター入館者10万人を突破
3月 県営温水防除事業白子第2地区（白湯）竣工
4月 南白亀川北日当橋竣工
5月 地元産コシヒカリ米飯給食に導入
8月 「白子ファンフェスタ99」開催
9月 コミュニティ・プラント第1期工事竣工
平成5年 3月 白子町基本計画策定
5月 町長選挙、林和雄氏当選
7月 郡界道路（町道106号線）一部開通
11月 第6回全国スポーツレクリエーション祭テニス・ソフトテニスの部開催

平成6年 4月 「白子チヌーリップ祭り」開催
4月 ガーベラ（ロックウール栽培）温室完成
11月 第1回「白子カップ」テニス・ソフトテニス大会開催

平成7年 2月 合併40周年記念式典
2月 長野県小谷村との姉妹都市提携
2月 シンボルキャラクター「げんき君」を制定
2月 コミュニティ・プラント第2期工事竣工
3月 町民サッカー場完成
6月 女優「根本りつ子さん」1日町長
7月 「第1回南白亀川イカダのぼり競争」開催
12月 元県議会議長・元町長酒井茂氏逝去、町民葬執行

平成8年 6月 環境美化推進に関する条例を制定
9月 アクア健康センター入館者50万人を突破

平成9年 2月 南白亀川イカダのぼり競争 県優良施策表彰
2月 毎日新聞地方自治大賞を受賞
3月 県営温水防除事業白子第1地区（南白亀）竣工
5月 長生郡市町村合併問題調査研究会設立
6月 町長選挙、林和雄氏再選
11月 白子中PTAに文部大臣表彰



白子中学校屋内プール完成

平成10年 4月 白子町第三次総合計画「しらこまち夢づくりPLAN」策定
9月 白子町交通安全条例を制定
10月 白子町少年野球場完成
12月 コミュニティ・プラント第3期工事竣工

平成11年 3月 白子都市計画が決定
6月 新旭橋川道橋完成
6月 宮後小橋竣工
8月 「交通安全全国キャラバン隊」伝達式
8月 天然ガス自動車導入



ふれあいセンター



千葉さらめき総体



町営ガス50周年

平成12年 1月 白子町が全国町村会から優良町村として表彰
3月 白子町の公式ホームページ開設
3月 白子町の緑の基本計画策定
4月 介護保険制度スタート
12月 ガス事業所の球形ガスホルダーを衣替え



南白亀保育所遊戯室改築

平成13年 1月 世紀越えイベント（中里海岸）
2月 「観光パンフレット」作成事業 県優良施策表彰を受賞
5月 長生郡市広域市町村圏組合北消防署新庁舎完成
5月 「白子たまねぎ祭り」開催
5月 町長選挙、林和雄氏三選
3月 白子中学校屋内プール完成
9月 長生郡市合併問題協議会設立
3月 新旭橋（県道飯岡一宮線）開通
白子町第三次総合計画後期基本計画策定
3地区に「ふれあいセンター」がオープン
4月 アクア健康センター入館者100万人を突破
8月 長生郡市合併協議会を設置
「住民基本台帳ネットワークシステム」サービス開始
町道101号線道路改良整備工事竣工（中里地区）
4月 千葉市の花県民会議開催
5月 千葉市の花県民会議開催
2月 白子町50周年記念式典
2月 内谷川高聖橋工事竣工
5月 町長選挙、林和雄氏四選
8月 千葉さらめき総体（ソフトテニス・ホッケー競技）開催
3月 白子町50周年記念の森植樹
4月 学校2学期制施行
4月 国民宿舎白子荘とアクア健康センターの指定管理者制度導入
8月 電子申請サービス開始
3月 内谷川市場橋架け替え工事竣工
4月 白子町小中学校連携教育実施
5月 町長選挙、林和雄氏五選
6月 東京駅行き高速バス運行開始
4月 白子産芋焼酎「南白亀」発売
9月 天皇皇后両陛下が幸啓で御来町
9月 ゆめ半島千葉国体（ソフトテニス・ホッケー競技）開催
9月 ふるさとしらこ応援基金設置
2月 行幸啓記念碑建立
2月 白子中学校屋内運動場改築
3月 東日本大震災発生
8月 町営ガス事業50周年
10月 津波避難訓練実施
3月 白子町テニスコート完成
7月 長野県小谷村と災害協定締結
10月 南白亀保育所遊戯室改築
11月 白子中学校創立50周年記念式典
町長選挙、林和雄氏六選
7月 ご当地ナンパプレート交付
4月 役場庁舎で休日開庁開始
4月 産直「げんきの里ひまわり」改築
5月 小学校土曜スクール開講
7月 煌めく青春南関東総体（ソフトテニス競技）開催
9月 小中学校校庭芝生化事業完了

過ぎた日々にも
刻々を想う

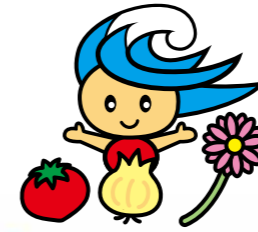


白子流ブイヤベース

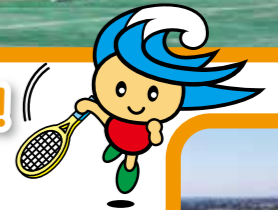
フランスの地中海地方の海鮮スープ料理で、世界三大スープとして知られているブイヤベース。そのブイヤベースを白子町特産品のトマトと玉ねぎと青魚のつみれをふんだんに使い、白子流にアレンジしたのが、新名物「白子流ブイヤベース」です。白子町にある飲食店や宿泊施設では、和風、洋風、中華風など、様々なアレンジされた「白子流ブイヤベース」をお召し上がりいただけます。



白子町の名産・特産



テニスの聖地!! 白子町



白子といえばテニスの町。340面のコートが集団化する全国屈指のテニスリゾート。温暖な気候で年間を通してプレーができるため、全国規模の大会や合宿などで賑わっています。



ガーベラ

町内の「ガーベラ団地」では、色鮮やかなガーベラの花摘みが体験できます(10~5月)。100種類以上のガーベラが、多彩な色で咲き乱れます。



おいしさ1番!! 白子たまねぎ

みずみずしくて甘いのが特徴の白子たまねぎ。水分が多く長期の保存がきかないため、収穫時期(5月頃)限定の特産。たまねぎには血液をサラサラにする成分が含まれ、生で食べるのが最も効果的といわれ、健康野菜としても人気があります。生産農家の畑で収穫体験ができる「たまねぎ狩り」も好評です。



九十九里浜とマリンスポーツ

雄大な太平洋に面した白子町には、中里・古所・剝金の3つの海水浴場があり、約6kmにおよぶ海岸では、海水浴以外にもサーフィンやビーチバレー、スポーツカイトなどの様々なマリッジャーが楽しめます。白子町は九十九里地引網発祥の地でもあり、夏には観光地引網が行われ、伝統ある漁法を体験することができます。



白子産芋焼酎!! 「南白亀」

遊休農地を活用して生産した「紅あずま」を原料とした、芋焼酎「南白亀」はまろやかな口当たりで好評です。



ヨードで美肌!? 白子温泉

地下2,000mから天然ガスと一緒に上がってくる灌水を温泉として利用している塩化物強塩泉。海のミネラル分である「ヨード」を含み、肌や髪を美しく保つともいわれ、「美肌の湯」としても知られ、切り傷・やけど・疲労回復などに効果があるといわれています。

関の羅漢榎 千葉県指定天然記念物

関地区の雨宮家(旧板倉家)の庭内で大きな存在感を放つ「関の羅漢榎」は昭和10年12月24日に千葉県の天然記念物に指定されました。榎は千葉県の県木でもあります。(昭和41年制定)羅漢榎の脇にある石碑(昭和38年建立)によると、樹齢800年以上、根周り約2.85m、高さ9mを超えると記述があり、県内有数の名木とされています。

秋

春



9月

み～んなの交通安全まつり



4月

白子チューリップ祭り



5月

白子たまねぎ祭り



11月

白子カップテニス・ソフトテニス大会



11月

文化祭

四季を彩る 白子町

7月

南白亀川
イカダのぼり大会



温泉



7月 8月

観光地引網

冬

夏

2月

しらこ桜祭り





げんき君



白子町シンボルキャラクター

白子町40周年の記念事業として一般公募し、多数の応募作品の中から白子町のシンボルキャラクターとして『げんき君』が選ばれました。体は太陽と情熱の赤、髪の毛は九十九里浜の大波を表し、足の黄色は町の花ひまわり、緑は町の木黒松を表現しています。元気いっぱいの子で、豊かな実りある町を象徴したものです。誕生日は平成7年2月11日です。今年で20歳となり、成人式にも出席しました。



小谷村 姉妹都市交流 20th Anniversary



平成7年2月、町制40周年を記念して長野県小谷村と姉妹都市として締結し、今年で20周年を迎えます。小谷村は、白馬連峰を間近に望む豪雪地帯で、冬は大勢のスキー客で賑わいます。また、標高約1,900mに広がる桐池高原は初夏でも残雪が見られ、季節で表情を変える絶景は、訪れる人を魅了します。小谷村とは毎年、春には塩の道まつり(小谷村)、夏にはイカダのぼり(白子町)、冬にはスキー教室(小谷村)と親睦を深めています。また、小谷村の小学生も修学旅行で白子町を訪れ、町内小学生と交流しています。平成24年には災害協定も調印され、今後も未永いパートナーであり続けるでしょう。





キバナコスモスと白子神社
白湯小学校6年 日下部 瑠夏



木漏れ日
白子中学校3年 糸山 摩依

絵画



かごからあふれる美しい花
関小学校6年 大塚 梨乃



うんどうかいがんばるぞ
白湯小学校1年 板倉 みづき



虫と人間は友だち
南白亀小学校2年 濱川 詩音



鞠
白子中学校2年 黒川 梨穂



森の仲間
関小学校6年 岡本 知聡



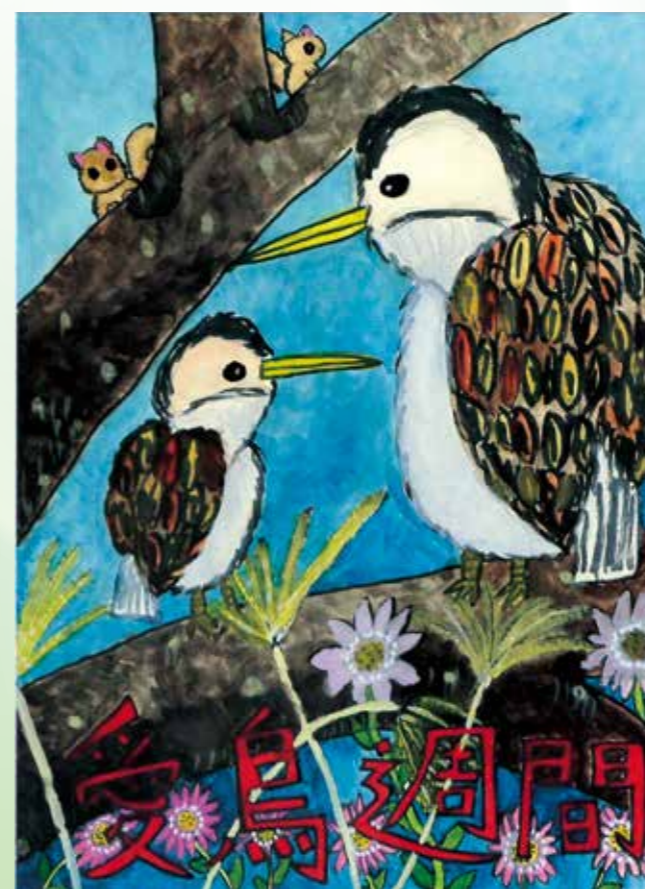
大きなししまい
関小学校1年 鷓澤 樹里



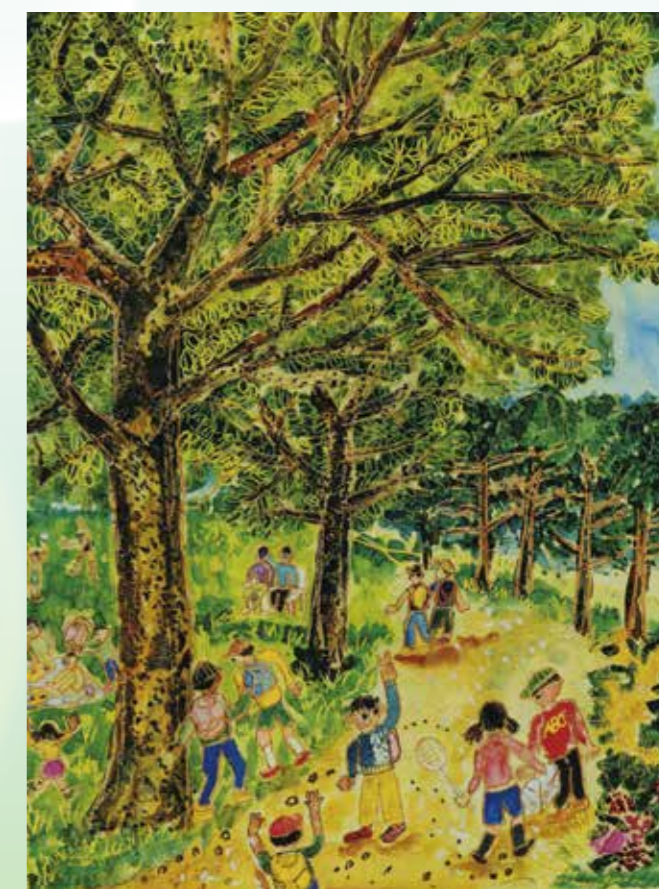
空にとんでくじらぐも
南白亀小学校1年 渡邊 悠惺



第59回こども県展
特別賞(千葉県教育長賞)
関小学校4年
石井 優樹



千葉県愛鳥週間作品コンクール
優秀賞(知事賞)
関小学校5年(受賞当時)
大多和 薫乃



国土緑化運動・育樹運動ポスター
原画コンクール
準特選(林野庁長官賞)
南白亀小学校4年
向後 岬輝



理想
實現
三年 内山 梓沙

白子中学校3年 内山 梓沙

希望
三年 今井 萌紅

白子中学校3年 今井 萌紅



海を愛する心とは

白子中学校 二年 徳若 宏樹
白子町には海があり、県外からのたくさんの観光客が訪れます。

僕はこの白子町の海が好きです。夏には海水浴が楽しめるし、観光地引き網もできます。そう、僕が好きなのは、海が近くにあるのでいつでも観光気分を味わえるからです。このほかに、海があることで「この町が自分のふるさとでよかった」と思えることもあります。

白子の海は地域の人からとても大切にされています。毎年地域では「JMO運動」が行われていて、白子中学校でも生徒全員で行う「海岸清掃」があります。これは、地域の人達が白子の海を大切に、何より愛している証拠だと思います。だからこそ白子の海はきれいにされ、観光スポットとして有名になったのだと思います。

僕は、白子の海に対して特別な思いがあります。それは、海の近くである町だからこその味わえる潮風と波の音が好きであるということです。

例えば、自分の家の窓を開けると潮風が吹いてきます。この時に感じる潮風の冷たさや独特な香りが好きです。また、そのときの空気はとても澄んでいて、深呼吸をすると落ち着きます。波の音については慣れていたので普段はあまり感じませんが、でも意識して聞いてみると、迫力のある大きな音が聞こえます。この波の音を聞くと、その時々によって様々な感情がこみ上げてきます。それと同時に、「ここは白子町。自分のふるさとなんだなあ。」と、改めて感じることもあります。

この海の潮風や波の音こそが僕のふるさとの思い出になるのではないかと思います。「自分のふるさとがここであってよかった。」これからもこの海を愛し、誇りに思っていて暮らしたいと思っています。

白子中学校2年 徳若 宏樹

希望王
六年 野口 真優

関小学校6年 野口 真優

夢
六年 小川 春希

関小学校6年 小川 春希

大地
三年 高橋 怜

関小学校3年 高橋 怜

広がる夢
五年 長島 沙耶香

南白亀小学校5年 長島 沙耶香

今年もとれたよ、白子町のたまねぎ

白潟小学校 二年 相内 瑞生
「わあ、こんなに大きい。」「あまーい、できてるかなあ。」友だちも、うれしそうです。楽しみにしていたたまねぎのしゅうかくさ。わたしはワクワクしながら、学校の畑につきまわりました。

わたしたちの学校では、まい年秋になえをうえて、五月にしゅうかくをします。のうきょうしのみなさんがうえ方を教えてくださったり、いろいろなせわをしてくださいました。マルチをはずすと、大きなたまねぎが、たくさん土から顔を見せます。「土の中はもうあきたよ。」「早くしゅうかくして。」と言っているようです。手で少しほってゆびをちょきにしてたまねぎの下に入れ、かるくもち上げると、かんたんにとれます。

白潟小学校2年 相内 瑞生

私の好きな白子町の風

白潟小学校 五年 田邊 未乃和
風がスイセンのおいを運んでくる。もうすぐ春。家の庭に立つと、私はいつも風を感じる。すずしくほほをくすぐる風。あたたか潮のかおりの風。さわやかなにおいのする風。潮のにおいの風。私は、ここ白子町にふいてくる風に、何度もいやされてきた。

白子町のどこが一番好きかと聞かれたら、私は、この豊かな自然とあふれる笑顔を迷わず挙げたい。例えば、友達とけんかした時風にあたり、風景をみていると自分から謝まりたい気持ちがいっぱいになり、心が晴れる。また、登下校中に急いでいても車をどめてくれたり、温かく私達に声をかけてくれたりする方がたくさんいる。町のみなさんの親切さのおかげで、私は笑顔でいられるのだ。青い海と緑と心をいやしてくる風。子どもも笑顔あふれる活気ある町。私も多くの人を助ける活動をして町をもっと明るくしたい。

白潟小学校5年 田邊 未乃和

わたしの好きな白子町

南白亀小学校 三年 片岡 かなな
わたしは、白子町の玉ねぎが大好きです。それは、白子町の玉ねぎは、他の所でとれた玉ねぎよりあまくておいしいからです。白子町では、おいしい玉ねぎをワインやドレッシング、アイスなどにかえたり、いろいろな料理に使ったりしています。

そして、白子町の玉ねぎのおいしさを多くの人に広げるために、玉ねぎまつりを行っています。毎年々大ぜいの人々が白子町にやってくるのは、白子町の玉ねぎを一度食べただけで大好きになってしまふからだと思います。白子町の玉ねぎを食べた人なら、玉ねぎが苦手な人もすぐ大好きになるとおもいます。わたしが大人になったころには、わたしのふるさと白子町の玉ねぎが、世界中の人たちへ届けられ、食べた人たちが、世界中の人がおなごうてくれることが、わたしの大きな夢です。

南白亀小学校3年 片岡 菜愛

自慢の南白亀小学校

南白亀小学校 六年 久我 英巻
ぼくの通う南白亀小には、みんなに自慢できることがたくさんあります。一つ目は、学校の敷地内には、多くの自然があることです。春先になるとグラウンドの芝生が一面緑いっぱいになります。校庭にあるシンボルツリーのカナリーヤシがこちよい風に吹かれながら、いつもぼくたちを見守ってくれています。冬の寒い朝には、きれいな富士山も見えます。

二つ目は、友だちみんなが優しく毎日楽しく過ごしていること。困った時は、お互い声を掛け合い助け合える仲間がいることです。三つ目は、地域の人たちがぼくたちの登下校の時に、「おはよう」「おかえり」と声を掛けてくれることです。いつもぼくたちのことを温かく見守ってくれています。それらもぼくたちの自慢できることです。これからも、自慢の学校を大切にしていきたいです。

南白亀小学校6年 久我 英巻

未来の夢
六年 牧野 百々香

白潟小学校6年 牧野 百々香

明日
四年 黒木 翼

白潟小学校4年 黒木 翼

うきぼ
三年 宗嶋 穂乃華

白潟小学校3年 宗嶋 穂乃華

希望王
四年 薄葉 汐音

南白亀小学校4年 薄葉 汐音

テニスの町「白子」で

関小学校 六年 野口 稜介
「将来はテニスに関わる仕事がいい！」三年前、僕は友達にさそわれテニスを始めた。家族も応援してくれた。母は白子町出身で関東大会まで出場したテニスプレイヤーだ。

白子町は三百面以上のテニスコートを持ち、今年はいんターハイも開かれた。また、宿泊施設も充実していて、大学生の合宿などで大勢の人が集まる。試合の様子を見ていると、一球一球真剣にボールを打つ姿、声がかかるまでプレーしている姿に、とても感動する。僕は試合に臨むときは、とても緊張するが、思った通りの球が打てたり、ペアの人とコンビネーションがうまくいったりするととても気持ちがいい。勝ったときの喜びは最高だ。僕はこれからもテニスを続けていく。もっともっと上手になって活やくしたいと思う。そして、テニスを通して経験したことや学んだことを伝えていきたい。

関小学校6年 野口 稜介

主体的にかかわる町づくり

関小学校 六年 内山 慶依子
十一月に「町長さんと語る会」があった。友達と話し合っ、①海を生かしたイベントの開催②白子の食材でB級グルメ③安全に下校するための街灯設置④文ぼう具店や本屋のじゅう実、をお願いすることに決めた。当日、町長さんは一つ一つの提案を真剣に聞き、「それはいいね」と言ってくれた。とてもうれしかった。

初めて知ったこともあった。たまねぎアイヌがあること。トマトの水耕栽培がさかんになっていること。シンボルキャラクター「げんき君」は現在二十歳、白子町を全身で表していること。私は、「トマトを生かしたイベントもおもしろいな」と思った。白子町に住んでいるのに、知らないことがまだまだたくさんある。そして、みんなが町の未来を話すワクワクしてくる。私はこれからも白子町のことを考え続けていきたい。

関小学校6年 内山 慶依子



<p>シンボルキャラクター 「げんき君」</p>  <p>体は太陽と情熱の赤、髪の毛は九十九里浜の大波を表し、足の緑と黄色は黒松とひまわりを表現しています。 [平成7年制定]</p>	<p>町章</p>  <p>「白子」の2文字を図案化したものです。全体の丸い感じは、平和で円満なまちづくりを表しています。 [昭和49年制定]</p>
<p>町の花「ひまわり」</p>  <p>町民のアンケートで選ばれました。明るい太陽に向かって常に笑顔を向ける、町のイメージにピッタリです。 [平成2年制定]</p>	<p>町の木「黒松」</p>  <p>千葉国体の開催にちなみ、県で「記念緑化推進運動」が行われたのを契機に町民からの公募で選ばれました。 [昭和45年制定]</p>

白子町60周年記念誌『笑顔 創意 夢のあるまち 白子町』

発行：平成27年2月
 発行者：白子町役場 総務課企画財政係
 〒299-4292 千葉県長生郡白子町関5074-2
 電話 0475-33-2111(代)
 制作：株式会社豊文堂